



広
報

まじょう

2010

5月号

No.326



NEWS INDEX

平成22年度 施政方針
平成22年度 当初予算
新規採用職員紹介・役場機構図
人間萬歳、木城町消防団幹部・部長
いぶき No.74
文化財よもやま話 49
脱「メタ防」クッキング
えほんの郷だより・町の人口

情報提供・お問合わせ先 <Eメール> soumu@town.kijo.jp
ホームページアドレス <URL> <http://www.kijo.jp/>

平成22年度施政方針

平成22年第2回木城町議会定例会が開会され、平成22年度木城町一般会計予算など25件の議案及び1件の諮問が上程され可決されました。

田口晃史町長が示した、平成22年度の町政運営に関する基本方針と主要事業について紹介します。

世界経済は、平成18年のリーマンショック以降かつてない経済不況に陥りましたが、各国の経済対策の継続や、中国をはじめとする一部新興国の堅調な需要、抑制された需要の反動増などで回復を見せつつあります。

平成21年度の方が国経済は、失業率が高水準で推移するなど厳しい状況にあります。持ち直していくと見込まれる一方、物価の動向を見ると緩やかなデフレ状況にあり、消費者物価指数は4年ぶりに下落に転じるとされています。

そうした中で、平成22年度の地方財政は、個人所得の大幅な減少や、企業収益の急激な悪化等により、地方税収入が引続き落ち込む一方、社会保障関係費の増や公債費が高い水準で推移する等により、財源不足が拡大するものと見込まれています。

本町においては、平成20年度より小丸川発電所一部完成に伴う固定資産税増収により、収入超過団体となり、町税の大幅な増となったところです。しかし、今後より一層徹底した歳入確保や、歳出全般にわたる見直しやムダを排除し、これまで行ってきた歳出改革を緩めることなく、これまで以上の財政健全化に努め、町民本位の福祉向上と地域の発展を図るための財源配分を行ったところであります。

本町は、これまでも財政の健全化や住民の福祉向上を目指して行財政改革に取り組んでまいりましたが、引続き事務事業の改善や行政経費の削減、職員の定数管理などに積極的に取り組んでまいり所存であります。

これら行政改革を進めていくには、住民の皆様との理解と協力が不可欠と考えます。行政主導型でなく住民の皆様も積極的に参加していただき、町政に対する提言等を行っていただきたいと思っております。

議員各位におかれましては、なお一層のご指導とご協力をお願いいたします。今後町民一人ひとりが、安全で安心な生活が実感できる「小さくても誇れる、キラリと輝く町づくり」に全力で取り組んでまいりたいと思っております。

以下、予算編成に当たっての重点項目について記述します。

1 快適で安全な生活環境の整備

道路や水道及び下水道などは快適で安全な暮らしを確保し、産業活動を支えるまちの重要な基盤であります。

町道は、住民生活の利便性に直接かわるものであり、また交通安全の面からも整備は必要であります。本年度は「荒瀬2号線」・「中原岩淵線」等の整備を行うこととしました。今後町民の要望や必要性の高い路線から整備を行うこととします。

簡易水道整備については、創設当初からの老朽配水管（石綿管）全ての布設替えが完了しました。今後は漏水調査等を定期的に実施し、安全で安心して使用できる飲料水の供給に努めます。

下水道整備については今年度末で処理場

増設工事が完了しますので、今後は管渠工事を計画に沿って実施するとともに、加入促進に努めてまいります。

なお、当事業区域以外については、合併浄化槽の普及を進め、生活環境の向上に努めてまいります。

2 農林業の向上を目指して

本町の基幹産業であります農林業については、農業生産額を上げ、魅力ある農業、持続可能な農業にするべく、生産現場・生産農家にわかりやすい施策を適宜実施することとします。

米政策・米の生産調整については、農業の立て直しと食と地域の再生に向けての戸別所得補償モデル制度が導入されることになり、引き続き、生産性の高い水田農業経営の確立に取り組むこととします。

畜産業については、飼料価格の高止まり、子牛・枝肉・豚肉・鶏肉相場が低迷していますが、農家の継続性と更なる資質向上を念頭に事業推進を行います。特に、和牛における安定生産体制の整備、乳牛における優秀雌牛の確保、養豚における疾病対策等を推進し、生産振興を図ることとします。

農道・林道・水路等については、受益者の高齢化等により、管理が困難となっている状況もあり、利便性の確保、生産性の向上のための整備を引き続き行うこととします。

林業については、木材の需要が伸び悩み、価格の低迷が続いておりますが、国土保全をはじめ、環境・水資源の涵養など森林の持つ機能を十分認識し、作業路の整備や町有林の活用等、適宜対応することとします。

3 少子高齢化対策・保健事業の充実

働く女性たちが安心して子育てのできる環境づくりが強く望まれています。平成21年中の本町での出生児は48名であり、将来を危惧しております。今後少子化対策、子育て支援の一環として引き続き、保育園に気軽に集える親子の交流の場や、保育料の上限設定、保育時間の延長や一時保育、乳幼児医療費の

就学前までの全額助成や義務教育終了時までの医療費助成、また妊婦検診の助成回数を増やすなど子育てしやすい環境づくりに努めます。

国の、子育て支援の大きな政策として、現在の児童手当に替わり中学校卒業までの児童生徒に対して平成22年度は月額13,000円を支給する「子ども手当」が創設されたところであります。

また、高齢者対策については、本町の65歳以上人口は平成22年2月現在で1,594名となっており、高齢化率は29.6%に達しており、さらに進むものと考えられます。より一層高齢者対策の充実を図り、さらにきめ細かなサービスに努めてまいります。

保健事業については、毎年、増加の一途にある医療費を抑制し、医療制度の安定化を図るため、国は国民皆保険のもと、医療制度の安定化を図るため、「医療費の適正化」、「後期高齢者医療広域連合の創設」などの医療制度改革が行われています。

今後の動向を注意深く把握することとします。

なかでも、医療費適正化を総合的に推進するため、平成19年度に本町で策定した「特定健康診査等実施計画」に基づき、平成20年度から実施している特定健康診査、特定保健指導によって、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）等、生活習慣病の疾病予防を重視し、特定健康診査実施計画の3年目に当たる平成22年度も目標達成に努め、医療保険者による特定保健指導の充実を図り、医療費の抑制や、個別指導の充実に努め、町民の健康づくりを行います。

また、最近では悪性疾患による死亡が多く見受けられることから、引き続き各種検診に対して助成を行うこととしています。

さらに、平成22年度より子宮がん、乳がん検診にかかる費用を全額補助することとなります。このことが早期発見、早期治療につながり、医療費の節減になると考えています。

今後はなお一層、行政と関係機関、団体との連携をとりつつ、高齢者、障害者、ひとり親家庭等の町民の福祉行政と健康づくりを進めてまいります。

4 21世紀を担う人づくりと教育

教育は、人間形成の基本をなすものと考えます。子どもたちの学力低下や社会性の欠如が懸念される今日にあって、次代を担う木城の子どもたちが心の豊かさを実感し、創造性を高め、新しい時代に対応する能力を育むために、知徳体のバランスの取れた教育の推進が重要であると考えます。

義務教育は、確かな学力と健康な身体、豊かな心を身につけることが大切であります。平成22年度も木城小学校と木城中学校に学方向上サポーターを配置し、行政と学校関係者が一体となって、基礎・基本学力の向上を図ります。

保護者の教育費負担軽減を図るため、修学旅行や学校給食費、副教材費の一部助成を引き続き実施します。また学力向上のみならず、児童生徒の体力向上と健康増進にも取り組み、その一環として、行政と学校医、県の歯科衛生士と連携した歯科衛生事業を各学校で実施します。

学校施設整備については、年次的に改修をしてきたところですが、本年度は、耐震診断結果による耐震対策として、木城小学校講堂の改修を行い、児童の安全に配慮した教育施設の整備充実に努めます。

近年、児童生徒の安全が脅かされている現状から、登下校時の安全確保をはじめ、安全で安心して暮らせる町づくりに積極的に取り組んでいるところです。更に、地域・家庭学校が連携し、「学校支援地域本部事業」及び「放課後子ども教室推進事業」を継続して取り組み、地域の教育力を生かした青少年への支援に努めます。

生涯学習と社会教育の振興については、その重要性が求められており、生涯学習施設やスポーツ施設を計画的に整備しているところです。木城町総合交流センターが4月にオープンしますが、生涯学習と文化芸術の中枢施設として町民に大いに活用していただき活動の充実を図ります。

また、町営グラウンドの全面改修を行い、野球場、ジョギングコース等を整備して、スポ

ーツの振興と体力づくりの推進を図ります。

5 環境への取り組み

今日の環境問題は、ゴミや水質汚濁などの身近な問題から、地球温暖化やオゾン層破壊という地球規模の問題まで、広範囲かつ多様化しています。

特に、生活環境及び自然環境は急激な変化を見せ、年を追うごとに緊急かつ重要な問題として取り上げられています。

本町では、生活に一番身近な環境問題として、ゴミ排出量の減量化を推進します。ゴミをなるべく出さない、再利用する、分別し再資源化していくことが環境負荷の低減につながり、地球にやさしい環境対策の第一歩になると考えています。

また、地球温暖化対策推進法に基づく地域推進計画を策定し、行政だけでなく、住民一人ひとりが生活環境、自然環境を守る理解者として、環境保全に対する意識の高揚を図り、循環型社会の構築を推進していく考えであります。今後もしも地域住民の協力を得て不法投棄の防止、美しい町づくりを町民と行政が一体となり、町及び地域の生活環境及び自然環境を守る施策を推進してまいります。

6 恵まれた自然を生かした観光・交流事業の推進

定住人口の増と地域社会の活性化を図るためには、恵まれた自然を生かした観光事業の推進と、交流人口の拡大が不可欠と考え、交流事業に取り組んでまいります。

そのため、「木城えほんの郷」をはじめ、「木城温泉館湯らら」、「川原自然公園」などの交流事業の基盤となる施設の整備を進めてまいります。

川原自然公園につきましては、カヌー・ボルトリングに加えてマウンテンバイクの常設コースの整備が完了しましたので、今後は季節や天候を問わず利用できる施設として、アウトドアスポーツの発信基地となるよう地域の活性化を図ってまいります。

また、平成20年7月にオープンした「小丸川発電所展示館ピノックパーク」に併せ、石河内にあります「木城えほんの郷」、「中八重緑地公園」をはじめ各施設が連携して、その魅力を発揮できるよう発電所や誘致企業の見学を含め、県内小中学校や幼稚園の社会見学（遠足）のコースと位置づけ、広報宣伝に力を入れ誘致を図ります。

平成20年2月に埼玉県毛呂山町と結んだ「友情都市」との文化交流や沖縄県うるま市との交流事業を継続し、相互の発展に努めます。

併せて、定住や移住の施策を推進してまいります。

今後はさらに教育・文化・産業・医療をはじめ、災害時相互支援などの分野で交流が深まることを願っています。

7 商業の振興

商業の振興については、町商工会と連携を密にし、消費者の利便性確保や、商業基盤の整備を図りながら、中小小売業の積極的な取り組みに支援し、商店経営の活性化を推進してまいります。

工業の振興は、住民の雇用確保の場として重要なものと位置づけ、環境にやさしい企業の誘致を目指し、工場立地環境の整備を図りながら、地場産業や既存企業の経営安定と企業誘致及び支援を行うこととします。

8 交通安全・防災対策について

自動車の普及と道路網の整備により交通量は大きく増加しています。

特に、県道「木城・西都線」、「都農・綾線」の交通量は年毎に増加傾向にあり、重大事故がいつ発生してもおかしくない状況であります。

町内での交通事故発生状況は、人身事故だけでなく年間30件(昨年は19件)で増加傾向にあり、また依然として飲酒運転、シートベルトの未着用はなかなか改善されず、交通安全意識の高揚に努めなければなりません。今後は、事故多発地点の道路改良、安全施設

の整備等に努め、交通事故違反「0」を目指して交通安全の普及啓発に努めてまいります。

また、防災対策については、「災害に強いまちづくり」の推進のため、消防団員の確保をはじめ、自主防災組織、地域福祉関係団体等と協働し、地域住民同士のつながりを深めるとともに、防災意識の向上を図るためその環境づくりを進めてまいります。

9 各施設整備について

平成19年度から平成23年度までの5カ年計画で、国土交通省所管の補助事業「まちづくり交付金事業」に取り組んでいます。都市再整備計画に基づき、まちづくりに必要な施設整備事業やソフト事業に取り組むこととします。

平成22年度は、安全安心な教育施設として、木城小学校講堂改築と各種のイベントや周辺施設の駐車場として活用できるコミュニティ多目的広場の整備を行います。

なお、町営住宅については、一戸建住宅を向河原に6戸建築しましたが、本年度も引き続き8戸を建築することといたします。

町外からの転入者による人口の増加を期待しております。

10 県道整備について

本町の県道は5路線で構成されていますが、「木城・西都線」の「椎木坂」の改良については引き続き要望してまいります。

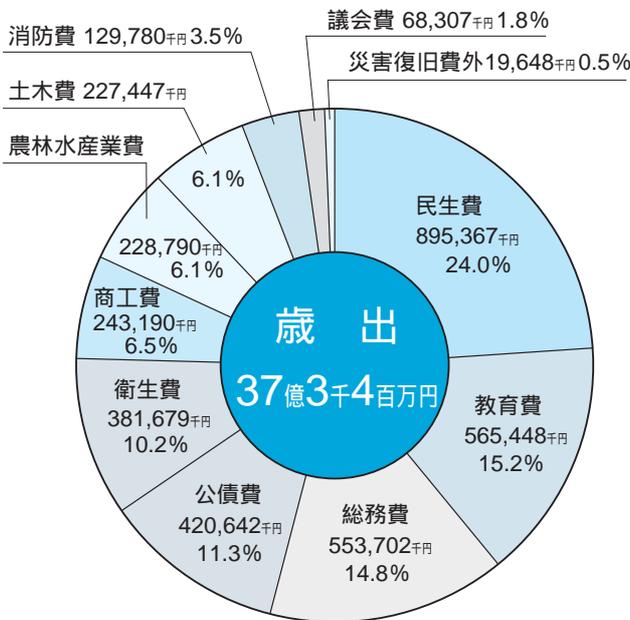
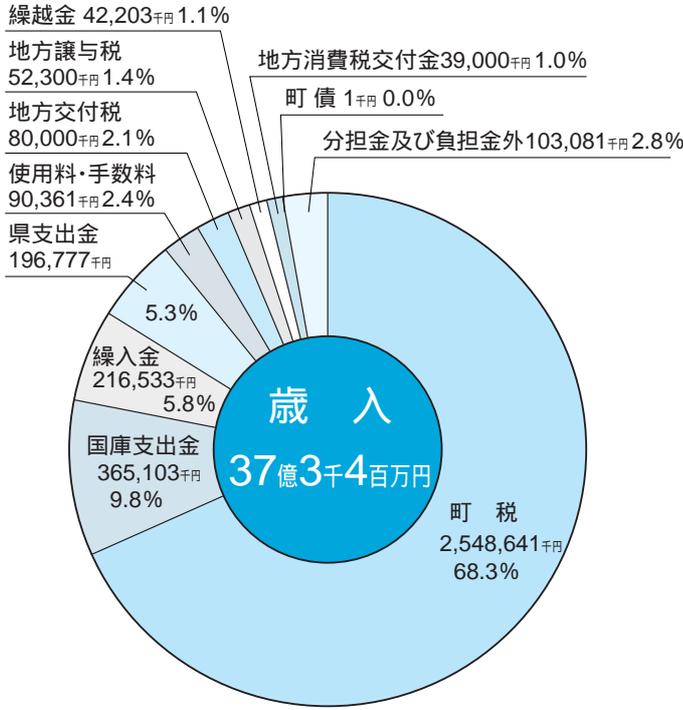
「東郷・西都線」についても既設道の改良を引き続き要望してまいります。

また、高城橋については、大型車両の往来により自転車等の通行が厳しくなっていますので、歩道橋の設置を要望してまいります。

以上、主な政策について申し上げましたが、先人たちが昔々と築き上げられた歴史や文化、恵まれた自然環境を将来に継承し、町民の幸せと町の発展に向けて努力してまいります。

平成二十一年度 一般会計予算

平成22年度の一般会計予算37億3千400万円が、議会で可決されました。皆さんの納めていただく税金や国・県からの補助金などがさまざまな形で使われています。毎年広報誌では、この予算が私たちの生活の中でどのように使われるのかお知らせしています。



一般会計
前年比13・6%減

私たちの生活に最もかわりの深い一般会計予算は、今年度歳入・歳出、それぞれ37億3千400万円となり、昨年度当初と比べ13・6%減となりました。

歳入

平成20年度から、小丸川発電所一部完成に伴う固定資産税増により、歳入における自主財源比率が大きく改善されました。しかし、社会保障関係費の増や公債費など財政を圧迫する要因もあることから、真に必要な町民本位の福祉の向上と地域の発展を図るための財源配分を行ないました。

性質別の割合では、町税や使用料及び手数料などの自主財源が、29億7千万円余りとなり予算総額の79・7%を占め、国・県支出金などの依存財源が7億6千万円足らずで同20・3%となりました。

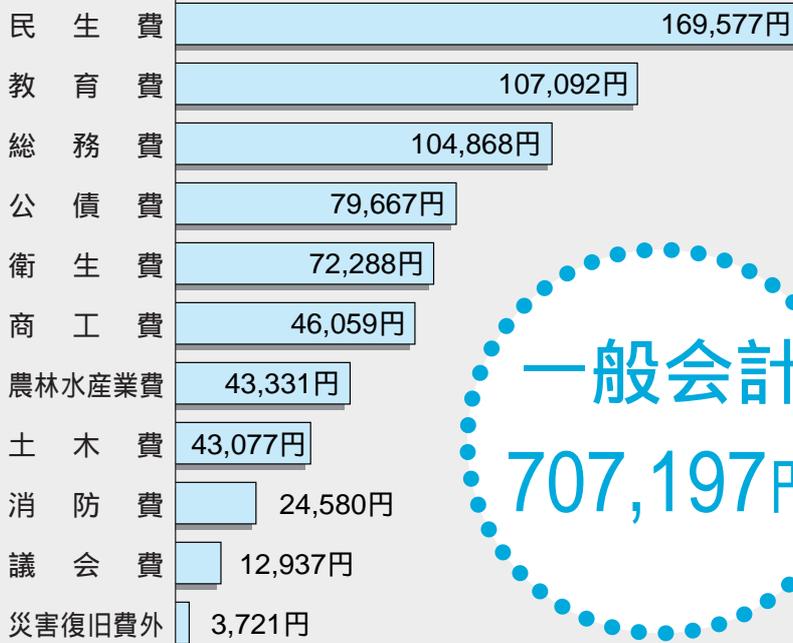
歳出

性質別の割合は、人件費や公債費等の義務的経費が、42・8%、物件費や補助費等の一般行政経費が、39・6%、建設事業費等の投資的経費が17・6%となっています。

目的別では、民生費が最も大きく、次いで教育費、総務費の順となっています。

町民一人当たりに使われるお金

(平成22年4月1日現在 人口5,280人) (単位: 円)



平成22年度 普通建設事業費 の主なもの

- 木城小講堂改築工事
2億1,616万円
- コミュニティ多目的広場
9,870万円
- 向河原団地
建設工事(8戸)
8,536万円
- 町営グランド整備工事
8,248万円
- 特定交通安全施設等整備
事業町道荒瀬2号線外
5,300万円
- 川原自然公園福祉トイレ・
ボルダリング増設工事
2,200万円

一般会計・特別会計予算一覧表

(単位: 千円)

区分	平成22年度	平成21年度	平成20年度	
一般会計	3,734,000	4,321,000	3,683,000	
特別会計	国民健康保険	812,000	754,000	825,000
	老人保健	4,700	45,300	83,900
	介護保険 (保険事業)	512,000	507,000	523,000
	介護保険 (サービス事業)	5,000	8,000	-
	後期高齢者医療	58,700	46,700	57,300
	簡易水道	117,000	117,000	120,000
	下水道	296,000	600,000	478,000
総額	5,539,400	6,399,000	5,770,200	

一般会計歳入性質別

(単位: 千円)

区分	平成22年度	構成比	平成21年度	構成比	伸び率
自主財源	2,976,223	79.7%	3,191,408	73.9%	- 6.7%
依存財源	757,777	20.3%	1,129,592	26.1%	- 32.9%
合計	3,734,000	100%	4,321,000	100%	- 13.6%



新規採用職員紹介



林 真衣
(産業振興課)

明るく元気に木城を盛り上げられるよう、日々コツコツ努力していきたいと思ひます。宜しくお願ひいたします。



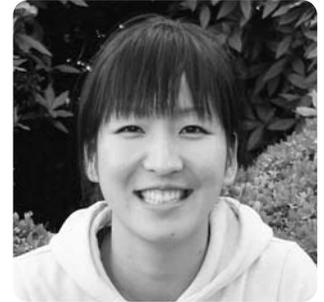
幸津 昭秀
(福祉保健課)

新しく木城町役場でお世話になります。慣れない職場で戸惑うことも多いと思ひますが、宜しくお願ひいたします。



河野 竜太
(税務課)

今年から木城町役場にお世話になることになりました。日々勉強し、精一杯頑張ります。宜しくお願ひいたします。

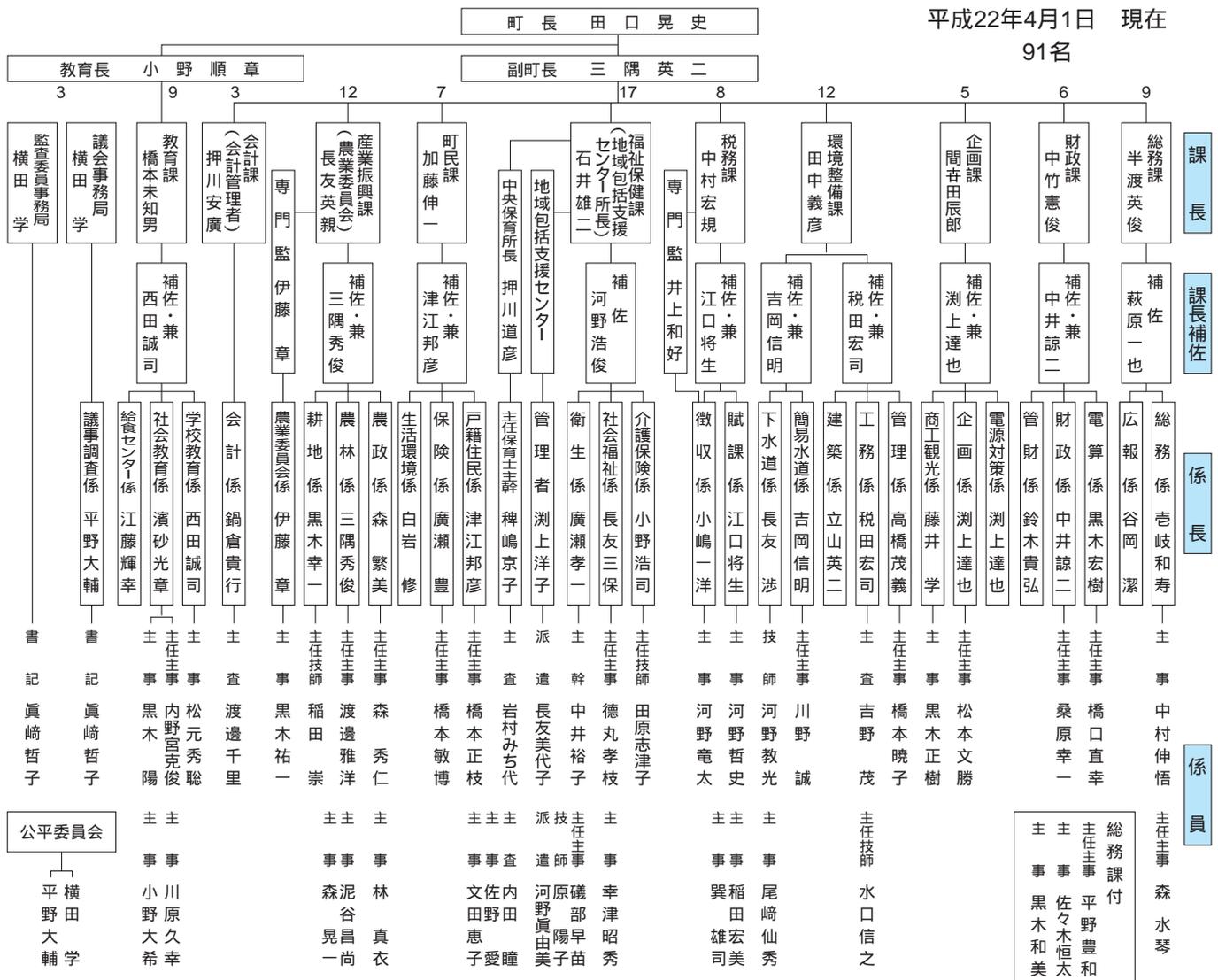


佐野 愛
(福祉保健課)

4月から、私自身が卒園した中央保育所で働くことになり、喜びで胸いっぱいです。笑顔いっぱい元気いっぴいの子どもたちを、中央保育所で育てていきたいです。

木城町役場機構・職員配置図

平成22年4月1日 現在
91名



NinGenBanZai 人間萬歳

このコーナーは、毎回町内在住・勤務されているいろんな方々に登場していただきます。
さて、今回登場するのは、この人！



しげ なが こう すけ
重永幸祐 さん(30歳) 湯屋ヶ坂
お 仕 事：林業 趣味：盛りだくさん
家族構成：妻・二人の娘との4人家族

自己紹介

私事ではありますが、無事30歳を迎えることができました。家族も増えて充実した毎日を送っていますが、これから先年を重ねていく中で、中身のある生き方をしていきたいと思う今日この頃です。

(しっかりした考えをお持ちのようですね！30歳を過ぎると1日1日が早く感じるのは私だけでしょうか？)

最近の出来事！

最近、ホームセンターで材料を買ってきて、ウッドデッキを自分で作りました。思ったより完成度がよかったので嬉しかったです。ホームセンターには夢が詰まっています。

(実際に見せていただきましたが、素晴らしい出来でした！そのウッドデッキでの家族だんらんが目に浮かびます！)

その他・・・コメント

“嫁さんが強いほうが、家庭がうまくいく”と思う今日この頃です。
(この言葉をきいて、思わず納得してしまった・・・565です)

平成22年度 木城町消防団幹部・部長名簿

(敬称略)

職 名	氏 名	管 轄 地 区
団 長	甲 斐 政 治	
副 団 長	矢 野 哲 也	
”	吉 良 清 志	
第1分団長	永 友 直 仁	第1部～第6部
第2分団長	重 永 健 二	本部、第7部～第11部
本部部長	内 野 宮 克 俊	町内全域
第1部 部長	椎 誠 也	田畑、一向瀬、重木
第2部 部長	高 橋 茂 義	四日市、出店、池田、中川原
第3部 部長	喜 多 勝 哉	中椎木
第4部 部長	山 下 利 幸	岩瀬上・下
第5部 部長	富 岡 誠	比木
第6部 部長	渡 辺 吉 和	陣之内、牧之内、中原、溜水、百合野
第7部 部長	黒 木 幸 一	大字高城(中川原、田神、岩戸除く)
第8部 部長	原 正 隆	田神、岩戸、新岩戸
第9部 部長	河 埜 久 之	大字川原全域
第10部 部長	黒 木 俊 児	大字石河内全域
第11部 部長	海 野 博	大字中之又全域
ラッパ部長	黒 木 正 樹	兼務
消防主任	中 村 伸 悟	



【新部長任命式(4月1日)】



〔訓練の様子〕

木城町総合交流センターリバリス落成式

3月26日(金)に、木城町総合交流センターリバリスの落成式が行われました。町内からたくさんの来賓が出席され、午前10時からテープカット・式典を行い、続いてホールでアトラクションが行われました。

式典では、工事関係者・版画寄贈者・愛称受賞者の表彰があり、岩淵出身の河辺一周様から版画2点の寄贈がありました。また、愛称表彰では、町地区の小嶋一洋様の「木城町総合交流センターリバリス」が愛称に決定しました。

アトラクションでは、ホールの柿落とし公演として町内の3団体に踊り・コーラス・神楽を披露していただきました。



式典の様子



テープカット



版画鑑賞の様子



アトラクション「比木神楽」

利用者の皆様へ

木城町総合交流センターリバリスは、町民に生涯学習の振興、普及や文化芸術の推進を図るため、ホール、図書室、会議室等の機能を有する総合施設として建設されました。

だれでも気軽に利用できる、町民交流の場・憩いの場として、お役立てください。

木城町総合交流センター資料展示室の紹介

4月にオープンをした木城町総合交流センターの資料展示室を紹介します。

センターには、ホール・大、小会議室・交流コーナーなどの施設の他に資料展示室があります。

資料展示室には、町内から出土した縄文時代から江戸時代までの土器・石器・鏡などが展示してあります。

私たちの身近なところから発掘や出土したもののばかりですので、先人たちの足跡を体感してください。

開館時間は、平日の8時30分から17時までです。町民の皆様の来館をお待ちしております。



奉納武道大会 開催!

(木城町社会福祉協議会)

4月4日(日)に、城山公園において、木城町社会福祉協議会の主催で、奉納武道大会が開催されました。

今年は、春の暖かい天気にも恵まれ、桜咲く公園内で、剣道の部、四半的弓道の部で、約20名の選手が、日頃の練習の成果を披露しました。

剣道の部では、「メーンッ!」という威勢のいい声と共に、竹刀の鋭い音が、響いていました。また、審判員のメリハリのある動きにも感動しました。

四半的弓道の部では、ほとんどの的をはずすことなく、熱戦が繰り広げられ、長年の業を披露していただきました。



木城っ子応援隊・木城っ子安全守る通信 隊員募集中!!

『応援隊』『安全守る隊』の隊員を募集しています。

「応援隊」は、学校や地域活動など様々な子ども達の活動を支援するボランティアです。学習指導補助や昔遊びの指導者として活動します。

「安全守る隊」は、児童生徒の登下校時の見守り活動ボランティアです。【あいさつ運動】も同時展開しています。

ご協力いただける方は、お問い合わせ下さい。
教育課 社会教育係 電話32-2369



校外学習引率活動(木城っ子応援隊)

5・6月に実施される 生涯学習関連事業(予定)

全町民対象事業

- 5月 5日(水) 教育委員会主催 子どもの日映画上映会(交流センターホール)
- 5月 9日(日) 町民体力づくり大会野球の部(山塚運動広場外)
- 5月18日(火) 平成22年度木城町青少年育成町民会議総会(交流センター)
- 5月30日(日) 教育委員会主催 木城町文化講演会(交流センターホール)

青少年教育対象事業・学校行事

- 5月 7日(金) 平成22年度木城町子ども会育成連絡協議会総会(交流センター)町
- 5月30日(日) 子ども会ふれあい韓国岳登山

高齢者・女性対象事業

- 5月13日(木) 福寿大学石河内・中之又合同学級
- 5月14日(金) 福寿大学中央学級
- 5月27日(木) 木城町中央婦人学級
- 6月14日(月) 福寿大学石河内・中之又合同学級
- 6月18日(金) 福寿大学中央学級

行事等については、総合交流センター 教育課までお問い合わせください。

【電話:32-2369】

「高城合戦を彩る武将達 伊集院忠棟について」

いじゅういたたむね

我々、日本人が外国人からよく言われるのが勤勉で働き者だと言うことであります。特に終戦後、世界でも屈指の経済大国として日本がのし上がった背景には、企業を支える労働者の懸命な働きによる成果が大きいことは言うまでもないでしょう。

本町における高城合戦においても、このように、現代のサラリーマンさんながらに組織の為にひたすら働き続けた武将がいました。それが今回紹介する伊集院忠棟であります。

この忠棟は、生まれた時期は不明ですが、祖父である忠朗は、島津四兄弟の祖父である島津忠良の筆頭老中を務め、父の忠倉は、島津貴久の筆頭老中として、島津氏の台頭に大きく貢献しています。

忠棟は、その祖父と父の流れを受けて、島津義久の使いを務めていました。そして、その後は筆頭老中となり、軍事、内政、外交など様々な面で地道に活躍していました。

特に、その力量を見せつけるのが、天正年間に二度に渡り繰り広げられた高城合戦であります。

天正六年（一五七八年）に豊後国（今の大分県）から大友宗麟率いる軍勢が、高城に攻めに来る少し前、石城（現在の石河内の日向新しき村）にて、伊東氏の残党がここに籠り、背後から島津氏を脅かそうとしていました。島津義久はこれらを攻めるために、平田光宗や上井覚兼と共にこの忠棟を現場へ派遣させました。しかし、この石城は大きな川に囲まれ、船や筏なしでは攻めることは困難であり、相当苦戦を強いられることになりました。ここで忠棟は大木を切り川底に沈め、浮橋を作り、軍勢で城を取り囲み、城主である長倉勘解由左衛門を降伏させました。これは、高城合戦の前哨戦としての意味を持ち、ここでの伊東氏の旧臣の動きを封じ込めたのが、後の大友氏との戦いに大きくリードしたということが言えます。

そして、その後の高城川（現在の小丸川）を挟んだ大友氏との直接の戦いにおいては、多勢の大友氏の軍勢に対して、高城城主の山田信介は苦戦を強いられませんが、それに対して後方支援として、財部（今の高鍋町）から島津義弘と共に、忠棟は攻め込み、大友氏を敗走へと追い込むこととなります。

この天正六年の戦いで島津氏の勝利に貢献した忠棟はその後の九州地域における領地拡大にさらなる働きを見せ、一段と活躍を見せることとなります。その後、島津氏の九州地域における勢力拡大を警戒すべく、天下取りに最も近い位置にいた豊臣秀吉が弟の秀長と二手の軍勢により九州征伐を開始することになります。

そこから、秀長の軍勢による高城の攻撃が行われるのが、天正十五年（一五八七年）であります。それに対抗すべく、島津義久は、軍勢を二手に分け左翼を北郷時久、そして右翼に忠棟が先鋒として、秀長の家臣である宮部圭潤が陣を構える根白坂に夜襲を仕掛けることとなります。この戦いでは、豊臣側の軍勢としての力量が圧倒的に上回っていることを島津側は思い知らされることになり、秀吉に和睦を申し入れます。

忠棟は、この戦いにおいては、早くから降伏を主張していません。そして、和睦成立後は、戦後処理に当たり、秀吉と島津氏の関係を上手く調整し、その直轄領を大幅に拡大させ、近世大名としての基盤を築くことが出来ました。

しかし、このことにより秀吉から島津氏が不穏な動きをしないように監視役を担わされるようになったことから、忠棟は島津側から不信感を抱かれ、慶長四年（一五九九年）に島津義弘の子である忠恒によって殺されてしまいます。

以上のように、島津氏が南九州における支配体制の陰の功労者でありながら、晩年は、悲劇の末路を迎えてしまうこの武将の壮絶な半生は、我々現代人に何かを訴えかけているような気がしてなりません。

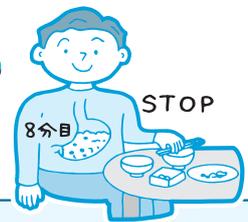


天正15年に伊集院忠棟が先鋒として攻撃した根白坂（現在の椎木坂）

（参考文献）

- 「歴史群像シリーズ 戦国セレクトション 裂帛島津戦記」二〇〇二年 学研
- 「歴史群像シリーズ 戦国九州三国志」二〇〇八年 学研
- 「高城戦記」 山内正徳 二〇〇八年 鉾脈社

（白岩 修）



もやし入りオイスターチャーハン

<材料 2人分>

ご飯(炊きたて)	300g(茶碗かるく2杯分)
オイスターソース	大さじ1・1/2
酒	大さじ1/2
もやし	1/2袋
にんじん	1/5本
ニラ	1/4束
焼豚	3枚
生姜(みじん切り)	1/2かけ
塩こしょう	少々
サラダ油	大さじ1



チャーハンにもやしや野菜を加える事でバランスも良くなりボリュームアップ

<食材ひと口メモ> ~もやし~

いつでも手ごろな値段で手に入る家計のお助け野菜代表でどんな料理にも相性抜群です。ビタミンCや食物繊維などの様々栄養素を含みます。



<作り方>

- ① 温かいご飯に分量のオイスターソースと酒を混ぜておく。
- ② にんじんはせん切り、ニラは1センチの小口切り、焼豚は1センチ角に切る。
- ③ フライパンに油を熱し、生姜を加えて、香りが出てきたら、焼豚・にんじん・ニラを加えて炒め合わせる。
- ④ 全体に火が通ったら、ご飯を加え、塩こしょうで味を調える。
- ⑤ 最後にもやしを加えてサッと炒め合わせ器に盛る。

小松菜と春雨のスープ

<材料 2人分>

小松菜	1/4束
春雨	25g
ゴマ油	少々
酒	大さじ1/2
しょうゆ	小さじ1/2
中華スープの素	大さじ1/2
水	2カップ
こしょう	少々

短時間ですぐできる野菜たっぷり中華風スープです。春雨を入れる事で満足度がアップします。



<作り方>

- ① 春雨は食べやすい長さにはさみで切る。
- ② 小松菜は水洗いして根元を落とし、2~3センチに切る。
- ③ 鍋に分量の水を加えて火にかける。
- ④ 煮立ったら調味料と春雨を加え1分程煮る、最後に小松菜を加えてサッと煮て器に盛る。

<食材ひと口メモ> ~小松菜~

あくが少ないので、下ゆでなしで料理に使える便利野菜です。カルシウムも豊富に含まれています

地区やグループへ調理実習を行っています!

調理実習の依頼・問い合わせは

保健センター(32-4010)まで

食生活改善推進員と栄養士が地区にうかがいます。

楽しくヘルシーメニュー作りませんか?



木城えほんの郷のたからものたち アジアの絵本原画と民俗画の世界展

2010年4月24日(土)～6月27日(日)

木城えほんの郷は、新緑の美しいこの季節。ゴールデンウィークを中心に、毎年恒例になっている《木城えほんの郷2010》を開催します。そのメイン企画として「木城えほんの郷のたからものたち アジアの絵本原画と民俗画の世界展」をお楽しみください。

アジアの照葉樹林帯に位置する木城えほんの郷は、多様な展開を進める現代絵本の世界で、特に、アジアの土の香りのする絵本に光をあてる作業を進めています。

今回の企画展は、世界の現代絵本の中に、アジアの土の香りのする独特の光を放つ絵本原画と、インドのミテラ - 地方の3000年もの長い時間にわたって村の女性たちによって描きつづかれた世界的に著名なミテラ - 絵画、中国やヴェトナムの新春を寿ぎ、いやさを願って民家を彩った年画。韓国の旅の放浪画家たちによって描かれた民画など、アジアのくらしの中に息づく民俗画と韓国・チョン・スクヒャンの『おどトラ』、中国・于大武の『ナージャとりゅうおう』、徐梁々の『ちようちんまつり』、趙朝勲・徐喚民の『ゆうかなアジク』、インド・ラマチャンドランの『おひさまをましがったハヌマン』、『ヒマラヤのふえ』、スリランカ・ウエットシンハの『にげだしたひげ』など、アジアを代表する画家たちによる絵本原画を同時に展示します。

また、この企画展とともに、ゴールデンウィーク恒例のイベントもどうぞお楽しみ下さい。

料金 大人500円 / 小中高生300円
(割引券あります)

木城えほんの郷2010 (4/29～5/5)

★ オープニングセレモニー
4月29日(木) 11時～

★ 絵本の展示
「たのしい! 絵本を手にとって!」

★ みどりの森のおはなし会
「絵本を読んでもらったことがありますか?」

★ 絵本トーク
「私のおすすめの本」

★ 村長のギャラリートーク
作ってあそぼう
野だて

★ 柳田邦男講演会

5月30日(日) 午後1:30～3:30

*会場 木城町総合交流センター(無料)
*定員 300人(申し込みが必要です)

「人生を豊かにする読書と絵本 -
大人も子どもも心にうろおいを」

★ 柳田さんと子どもの集い

5月30日(日) AM.

絵本の楽しさを発見する旅へ!
柳田さんと1つしよに、
子どもたち参加型の集い!

★ 絵本フェア

「こんなにたくさんの絵本があるよ」

★ 森の音楽会

5月2日・3日

「久志果奈子さんとゆかいな仲間たち
～リズムで遊ぼう～」
ハレヤ楽団

★ 森のコーヒーやさん

「手作りのカレー・ケーキ・コーヒーはいいか?」